

Title	慶應義塾大学病院におけるMRI検査業務の効率化についての考察
Sub Title	
Author	大友正敏(Ootomo, Masatoshi) 河野宏和
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1996
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1996年度経営学 第1243号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001996-1243

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	大友 正敏 (学校法人慶應義塾)	主査 河野 宏和 副査 小野桂之介 田中 滋 丹羽 明
所属	河野 宏和 研究室	

慶應義塾大学病院におけるMRI検査業務の効率化についての考察

我が国における人口構造の高齢化は、急速なピッチで進んでいる。それに伴い、医療や健康への関心が高まり、病院や診療所に対する患者の意識も変わりつつある。また、国民医療費の増加は社会全体の問題として大きく取り上げられているというように、医療や病院を取り巻く環境は大きく変化している。そして、その変化による影響は筆者の勤務する大学病院に対しても例外ではない。そのような環境の中で、より良い医療を提供していくためには、どのような考えかた・視点をもって経営にあたる必要があるのか、という問題意識のもとに研究を行った。

本研究では、これからの病院経営を考えていくにあたって、筆者の勤務する慶應義塾大学病院を研究対象とし、先端的な技術で、しかも大型・高額な検査機器を用いるMRI検査に焦点を当てた。そして、病院業務における「検査」業務の役割を分析しながら、経営資源の有効活用を通して、医療サービスの質の向上を目指す方法を検討した。その際、病院における医療業務、医療業務の中の検査、検査の中のMRI、MRI検査の業務の流れ、MRI検査室の1日の流れ、1件の検査の流れ、といったように研究対象をブレイクダウンしながら、調査・分析を行った。そして、設備の稼動状況、MRI検査の業務分析、検査業務における情報の流れといった観点から、MRI検査に内在する問題点を指摘し、それらの問題点をレベル別に構造化した上で、レベルに応じた改善提案について検討を加えた。